

## 再評価結果(平成19年度事業継続箇所)

担当課: 道路局国道・防災課  
担当課長名: 木村 昌司

事業名 一般国道21号 関ヶ原バイパス	事業区分 一般二次	事業主体 国土交通省 中部地方整備局
起終点 白: 岐阜県不破郡垂井町 至: 岐阜県不破郡関ヶ原町	延長 10.4km	
<b>事業概要</b> 一般国道21号は、岐阜県瑞浪市を起点として、美濃加茂市、各務原市、岐阜市、大垣市、関ヶ原町など岐阜県の主要都市を経て、滋賀県米原市に至る延長102kmの主要幹線道路です。関ヶ原バイパスは、関ヶ原町内における一般国道21号の交通混雑の緩和や冬期における円滑な交通の確保などを目的とした、延長約10.4kmの道路です。このうち、不破郡垂井町日守から関ヶ原町玉に至る延長6.1kmが暫定2車線で供用しています。		
S47年度事業化	S54年度都市計画決定	S55年度用地着手
S58年度工事着手		
全体事業費	約440億円	事業進捗率
計画交通量	15,300台/日	約58%
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.5 (事業) 1.7 総費用 (事業)/ (事業全体) 165/657 億円 (事業費: 131/577 億円 維持管理費: 33/ 80 億円)	総便益 (事業)/ (事業全体) 274/970 億円 (走行時間短縮便益: 242/848 億円 走行費用減少便益: 32/121 億円 交通事故減少便益: 0/ 2 億円)
		基準年: 平成18年
<b>事業の効果等</b> ・渋滞の解消(現道における年間渋滞損失時間の削減) 他12項目に該当。 <b>関係する地方公共団体等の意見</b> 関ヶ原バイパスは、現道21号の交通量増加による騒音等の環境問題や、冬期積雪時における交通渋滞等の解消に十分な効果をもたらすことが期待されており、関ヶ原町や地元商工会で構成される西濃地区商工団体連合協議会より早期整備の要望(関ヶ原町:平成18年8月29日、連合協議会:平成18年9月20日)を受けている。		
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ・地域交通と通過交通が混在し、慢性的な交通渋滞が発生(混雑度:最大1.22、最大渋滞長950m) ・交差点付近での事故発生が顕著 ・夜間要請限度を大幅に超過しており、沿道環境改善が悪化 ・厳しい道路構造や名神通行止めの影響により、冬期の交通機能が低下		
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> ・関ヶ原バイパスL=10.4kmのうち、6.1kmを暫定供用。 ・事業進捗率は約58%、用地取得率は89%(平成18年度末見込み)。		
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ・関ヶ原町玉～今須(延長4.3km)については、都市計画決定に向けた調査・設計の推進		
<b>施設の構造や工法の変更等</b> ・擁壁構造・橋梁形式の見直しにより、約0.7億円のコスト縮減。 ・代替案として考えられる現道拡幅は、当該区間の沿線に市街地が形成されており、店舗や人家が連担していることから、計画の変更困難。		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	以上の点を勘案し、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないものと考えられる。	
<b>事業概要図</b> 		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。